

若草園を支える会 会報 後援会だより

2025年（令和7年）9月25日発行 第62号

事務局：社会福祉法人 栄光会 若草園 内

〒787-0155 高知県四万十市下田 2 2 1 1

Te1 (0880)33-0247/Fax 33-0518

<https://wakakusaen.holy.jp/sasaeru>

会長：矢野川 研 編集：寺田 知子



「機関紙『わかくさ』第72号」を同封しています。

取引口座 ゆうちょ銀行 01610-5-9632 社会福祉法人 栄光会 若草園
幡多信用金庫 本店営業部(普)0083497「若草園を支える会」会長 矢野川研

新年度のご挨拶

若草園を支える会会長 矢野川 研

今年も記録的な暑さが続きました。秋とはいえ、続く残暑が身にこたえる時期でございますが、健康には十分留意されて過ごしていただきたいと存じます。

さて、去る8月20日には、若草園を支援する会総会（役員会）を開催し、昨年度の事業報告や決算、予算の承認がなされました。昨年度皆様から頂いた会費の活用については、若草園在園児へのお年玉、卒園児へのお祝い、ホーム活動支援金を交付しました。ホーム活動支援金はその活用主旨を若草園職員の方々にご理解していただき、在園児童本位の視点からの若草園職員様の創意工夫により積極的、有効的に活用いただいております。

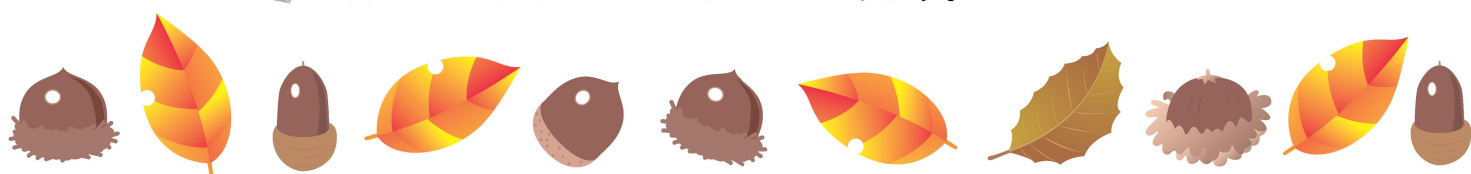
今年度は上記の支援に加え、在園児のキャリア育成及び卒園児のアフターケアにも支援を拡大できるように予算措置を行いました。また、再び広報活動にも力を入れ、関係機関への情報提供を強化したいと考えています。国による新たな社会的養護の指針により私たちの取り組みにも変化が求められています。しかし、支援を要する子どもたちは依然として存在します。支援の輪を地域社会の中へ広げるため、皆様方にもお力添えいただきますようお願いを申し添えて新年度の挨拶と致します。



● 2025(令和7)年度 会員募集のお知らせ ●

昨年度も多くの皆さまより温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。
若草園を支える会では、7月より新年度を迎え、改めて2025(令和7)年度の会員募集を開始いたしました。

会員には、会費やご寄付により若草園の活動を直接ご支援いただく「正会員」と、会費等のご負担なく活動を見守っていただく「賛助会員」の2種類がございます。ご入会いただいた方には、3年間にわたり若草園の機関紙をお届けいたします。期間満了の際には、継続のご意向を改めて確認させていただいております。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



◇ 2025 (令和7年) 年度役員会のご報告 ◇

8月20日に役員会を開催し、昨年度の決算・活動報告および今年度の活動計画が承認されました。昨年度は各市町村校長会での呼びかけが行われなかったため、会員数・会費ともに減少傾向となりました。一方で、2年目となるホーム活動支援金の活用により、子どもたちは多様な体験を重ねることができました。支援金については ホーム間で活用に差があり、「より使いやすく改善が必要」との意見も寄せられています。

今年度からは、新たに自立支援金制度を開始します。高校卒業と同時に巣立つ子どもたちの中には、社会生活や人間関係構築に困難を抱えたままの子どももいます。年齢や背景にかかわらず、自立に時間がかかるケースが年々増えており、多様な社会経験と丁寧な支援が求められています。これらの若草園の現状について福留施設長より説明があり、役員の皆さまとの間で活発な意見交換が行われました。

子どもたちの心に寄り添い安心できる環境を整えるためには、施設現場への継続的な支援が不可欠です。支える会の皆さまにもこうした現状をご理解いただき、今後の支援の輪を広げていく一助となっていただければ幸いです。

なお、来年度は8月頃に「全体会」の開催を予定しております。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

◇ 2024(令和6)年度決算のご報告 ◇



2024(令和6)年度決算は下記のとおりです。

2024(R6)年度 収入支出決算書 <一般会計>

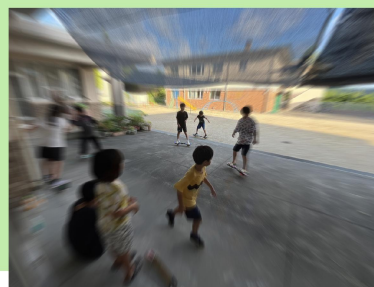
2024年度:2024(R6).7.1~2025(R7).6.30

収入	2023年度繰越	817,028	
	会費	298,000	148 名(昨年度280名、487,000円)
	寄付金	120,000	月定寄付者より毎月10,000円
	支援金還付金	0	
	預金利息	488	普通預金(96円+392円)
	合 計	1,235,516	今年度の純収入 413,488円
支出	払込手数料	13,236	ゆうちょ銀行払込手数料
	卒園お祝い金	30,000	1名分
	在園児支援	289,539	お年玉:3千円×8名+5千円×16名=104,000円 ホーム活動支援:185,539円
	消耗品	30,230	機関紙印刷代3回分27,300円 会長印:2,930円
	通信費	3,069	切手代:3069円
	基金へ繰越	0	
出	予備費	0	
	合 計	366,074	今年度の収支差額 52,414円
	差引残高	869,442	全額、幡多信本店に預金

2024(R6)年度 収入支出決算書 <基金会計>

2024年度:2024(R6).7.1~2025(R7).6.30

収入	2024年度繰越	473,303	普通預金
		6,604,189	定期預金
	支援金還付金	55,000	
	預金利息	261	普通預金(56+205)
	合 計	7,132,753	今年度の純収入 55,261円
支出	予備費	0	
	合 計	0	今年度の収支差額 55,261円
	差 引 残 高	7,132,753	全額、幡多信本店に預金



皆さまの声を
お聞かせください



☒事務局
直通メール
wakakaikei
@trad.ocn.

今夏、24時間テレビのチャリティーマラソンを横山裕が走った◆その理由は、幼少期の孤独や弟たちとの絆、児童養護施設で過ごした家族の記憶に根ざしている◆以前、NHKの朝ドラで主人公の兄役を演じた彼の姿が印象的だったが、今回その生い立ちを知り、あの「陰」に彼自身の背景が重なっていたことに気づかされた◆「子どもファーストだった母の姿が、今の自分の原点」と語る彼の言葉には、支援を必要とする子どもたちへの深い共感が込められていた◆施設を訪れ、弟たちの記録に触れた場面では、過去と向き合う姿に多くの視聴者が胸を打たれた◆支援とは、制度だけでなく「誰かが自分を見てくれている」という実感を届ける営みでもある◆横山の走りは、その問いを社会に投げかけるものだった◆支える会もまた、子どもたちの安心できる居場所づくりに歩みを止めずにいたい（寺田）

